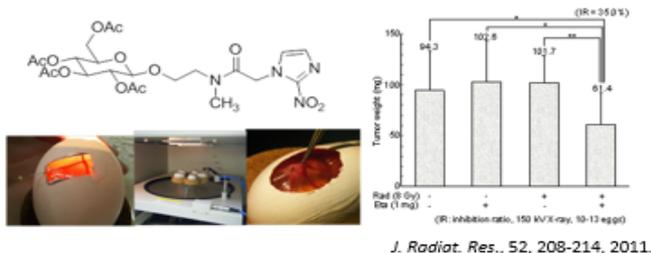




発育鶏卵を用いた癌の創薬研究と治療剤／サプリメントの開発

腫瘍移植鶏卵を用いた放射線増感剤の開発



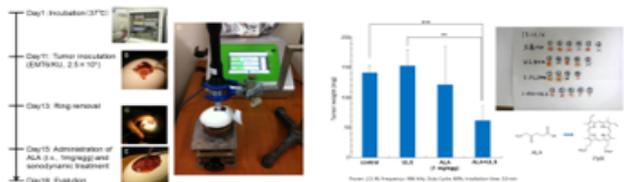
J. Radiat. Res., 52, 208-214, 2011.

転移腫瘍鶏卵モデルを用いた抗転移剤の開発



Anticancer Res., 37, 3877-84, 2017.

腫瘍移植鶏卵を用いた超音波増感剤の開発



Anticancer Res., 34, 4583-7, 2014.

血清/初乳糖タンパク質を用いた免疫賦活剤の開発

GcMAF
血清製剤(癌治療用)
Nature, 485, 2012.

ウシ初乳糖MAF
サプリメント
Anticancer Res., 35, 4487-92, 2015.

実績症例:がん、感染症、アトピー、花粉症、脱毛症、多発性硬化症、自閉症、四肢麻痺、慢性疲労症候群、など

～研究内容～

マウスやラットに代わる動物実験法として、発育鶏卵を用いた薬剤評価法の開発とがんの創薬研究を行っています。

分子設計・合成した放射線増感剤/防護剤、抗転移剤、超音波増感剤、抗酸化剤の薬物動態解析や活性評価に成功しており、国内外の大学や製薬企業、健康食品企業との共同研究開発を推進しています。

また、がんや感染症、自己免疫疾患に対する治療剤“血清MAF”やサプリメント“初乳MAF”、皮膚の老化を抑制する化粧品“iGS4000ジェル”、認知症に対するサプリメント“マックビー”の研究開発も行っています。さらに、地元徳島の阿波藍を用いた新産業として、ジャパンプルーの水溶性藍色粉末を開発し、食品および工業分野の各企業と共同して商品開発を行っています。

氏名：宇都 義浩 (うと よしひろ)

研究分野：生物有機化学

E-mail : uto.yoshihiro@tokushima-u.ac.jp

Tel : 088-656-7514

